

HSBC ユニ・フォリオ

ガーンジー籍オープン・エンド型契約型公募外国投資信託(米ドル建て／ユーロ建て)

運用報告書 (全体版)

作成対象期間 第 23 期

(自 2019年 8 月 1 日)
(至 2020年 7 月31日)

管理会社

HSBCマネジメント(ガーンジー)リミテッド

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、HSBC ユニ・フォリオ（以下「ファンド」といいます。）は、このたび、第23期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ファンドの仕組みは、以下のとおりです。

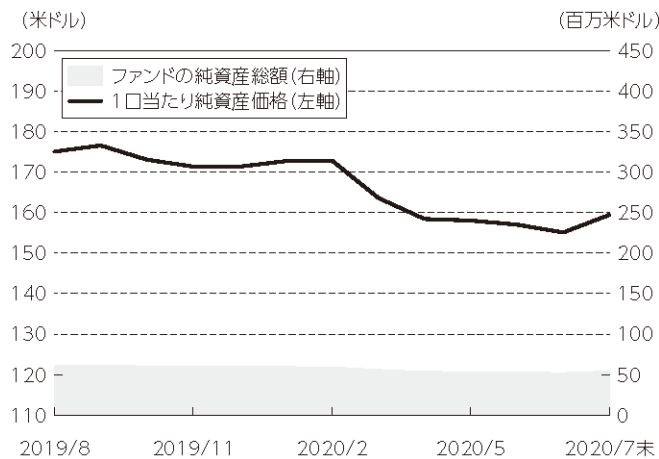
ファンド形態	ガーンジー籍オープン・エンド型契約型公募外国投資信託（米ドル建て／ユーロ建て）
信託期間	ユニ・フォリオおよびファンドは、2099年またはこれ以前に終了します。 運用開始日は、以下のとおりです。 HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド（米ドル・クラス）：2005年（平成17年）10月31日 HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド（ユーロ・クラス）：2006年（平成18年）3月31日
運用方針	インデックスに基づいて測定される、主として商品取引アドバイザーおよびマネージド・フューチャーズ戦略を利用するヘッジ・ファンドへの投資に伴うリスクと同程度の利回り水準の提供を目指します。
主要投資対象	投資信託
主な投資制限	<p>(i) 各評価時点において、(a)ファンドの純資産総額の最低40%は、月次またはそれ以上の取引頻度において投資先ファンドで保有され、(b)更に、ファンドの純資産総額の40%は、四半期毎またはそれ以上の取引頻度において投資先ファンドで保有されるものとし、加えて、(c)ファンドの純資産総額の20%以下は、四半期毎を上回る取引頻度で投資先ファンド（サイドポケット保有を含む。）で保有されるか、または、クローズドエンド型ファンドの投資証券または持分となりますが、かかる投資証券または持分が取引される確固たる市場は存在していません。</p> <p>(ii) 為替ヘッジ： HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンドー米ドルクラス：受益証券クラスの参照通貨以外の通貨で表示された資産および負債は、関連する参照通貨にヘッジ・バックさせることもさせないこともできます。 その他すべての受益証券クラス：資産は、各受益証券クラスの参照通貨以外の通貨建てとすることができ、かかる通貨エクスポージャーは関連する参照通貨にヘッジ・バックされるものと予想されます。かかる目的のためのヘッジは、先渡為替契約またはかかる契約に係るオプションによってまたは利用可能でかつ同一のもしくは類似の効果を有するその他のデリバティブ商品を用いて行われます。管理会社は、その絶対的な裁量により、通貨ヘッジに関する方針を変更する権利を有します。ヘッジにかかるすべてのコストは、該当する受益証券クラスの受益者が負担しますが、ファンド全体の純資産総額に反映されることがあり、よって、かかる受益証券クラスおよびその他の受益証券クラスのパフォーマンスに反映されることもあります。</p> <p>(iii) ファンドは、空売りを行ってはなりません。ただし、ファンドが投資する投資先ファンドは空売りを実行することができます。</p> <p>(iv) 一投資先ファンドに対する投資は、ファンドの純資産総額の20%を超えてはなりません。</p> <p>(v) ファンドは、(a)管理会社および／もしくは管理会社の関連会社により直接的もしくは間接的に運用される投資先ファンドまたは(b)管理会社と関係を有する投資先ファンドに、ファンドの純資産総額の30%を超えて投資してはなりません。</p> <p>(vi) ファンドは、ファンドの純資産総額の20%を超えて、受益証券または投資証券が証券取引所に上場されておらず、公開の規制ある市場において取引されていないクローズド・エンド型投資先ファンドに投資してはなりません。</p> <p>(vii) ファンドは、ヘッジのみの目的でデリバティブ取引を利用することができます。ファンドは、投機目的でデリバティブ商品に投資してはなりません。ファンドがデリバティブを利用する場合、これらの取引を実効化するための証拠金またはプレミアムの利用可能額は、ファンドの純資産総額の15%を超えてはなりません。</p> <p>(viii) ファンドは、下記の場合、その純資産総額の合計25%までの借入れを行うことができます。 (a) 投資先ファンドの売買取引時の決裁日不一致のため生じる現金不足をカバーするために最長1か月間 (b) 受益者による買戻代金調達のために最長3か月間 (c) 為替ヘッジのために最長3か月間（関連通貨ヘッジのためにキャッシュフローを調達することを含みます。） (d) 投資先ファンドへの追加投資を行う投資目的で、ファンドの純資産総額の最大10%</p>
ファンドの運用方法	いつでも、連結ベースでファンドの総資産額（銀行預金残高ならびに12か月満期を上限とする一覧払いまたは要求払いのレポ取引から生じる請求により構成される流動資産控除後。）の最低3分の2は、直接的または間接的に商品取引アドバイザーおよびマネージド・フューチャーズ戦略に投資されます。
分配方針	すべての収益は、「再投資」されます。

I. 運用の経過等

(1) 当期の運用の経過および今後の運用方針

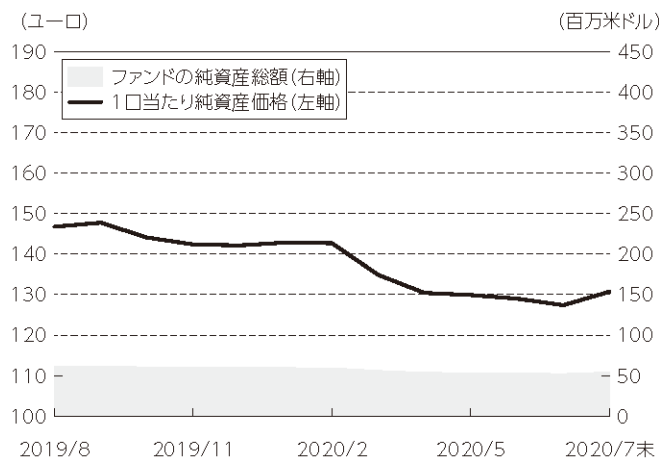
■ 1口当たり純資産価格等の推移について

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド（米ドル・クラス）



第22期末の1口当たり純資産価格：	
米ドル・クラス	175.12米ドル
ユーロ・クラス	146.79ユーロ
第23期末の1口当たり純資産価格：	
米ドル・クラス	159.49米ドル
ユーロ・クラス	130.73ユーロ
第23期中の1口当たり分配金合計額：	
該当事項なし	
騰落率：	
米ドル・クラス	-8.93%
ユーロ・クラス	-10.94%

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド（ユーロ・クラス）



- (注1) ファンドは分配金を支払っていないため、課税前分配金再投資換算受益証券1口当たり純資産価格を記載していません。以下同じです。
- (注2) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ファンドにベンチマークは設定されていません。
- (注4) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算していますが、ファンドは分配金を支払っていないため、受益証券1口当たり純資産価格と同一です。以下同じです。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

■分配金について

該当事項はありません。

■投資環境について

2月および3月は、マネージド・フューチャーズ戦略全般にとって厳しい期間となりましたが、ファンドの投資マネジャーの損失はインデックス・リターンを上回り、トレーディング・アドバンテージ・ファンド（米ドル・クラス）（以下「当ファンド」といいます。）はそれぞれ5.34%、3.18%低下しました。

2月の不振の大部分は、システムティック・マクロ・マネジャーに起因するものでした。長期的なファンダメンタル・シグナルが米国の短期的なエクスポージャー、株式のロング・ポジショニング、米ドル/円キャリー・トレードへのより大きなエクスポージャーをもたらし、これらがすべて同月中に減少しました。これらのプログラムにわたるリスクは、月末にかけて大幅に低下しました。短期のCTAを中心とした分散投資は、モメンタム戦略の利益による恩恵を受けました。

3月には、システムティック・マクロが引き続き苦戦し、一部のプログラムでは四半期全体で歴史的な損失となりました。ポートフォリオの他の部分については、ボラティリティが高い期間によく見られるように、動きが速い短期のCTAが継続的に長期戦略を上回るパフォーマンスを上げました。さらに、小幅な取引幅に合わせてモデルを調整したシステムティック・コントラリアン戦略も3月に損失を出しました。

■ポートフォリオについて

当期、HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド（米ドルクラス）のリターンは-8.93%となり、同期間に-2.70%のリターンとなったダウ・ジョーンズ・クレディ・スイス・マネージド・フューチャーズ・ヘッジ・ファンド指数を下回りました。

2019年8月には当ファンドが好調であったものの、続く9月はマネージド・フューチャーズ戦略にとって厳しい月となりました。主な要因は、広範囲に波及効果をもたらした、長期的な傾向を覆し、米ドルや金のポジション全体に損失を出した、米国金利市場における大幅な反転でした。さらに、短期的なマネージド・フューチャーズ戦略は、中長期戦略を上回ったものの、9月の大規模な市場の動きや資産クラス間のボラティリティの上昇を十分に活用することができず、同月をマイナスで終えました。

中長期トレンドのフォロワーは、2019年末まで苦戦し、損失の大部分は長期債券ポジションおよび外国為替に起因するものでした。株式では、ポジションが完全にロングに移行し、市場が持ち直した当四半期にプラスに貢献しました。しかし、他の資産クラスの損失を相殺するほどではありませんでした。一方で、Transtrend Fund Alliance Omnitrendは、第4四半期に市場が持ち直した際にリスク・オフ・ポジションが悪化し、この時期に損失を出した筆頭の1つでした。システムティック・マクロ戦略では、テクニカル・モデルの利益は、第4四半期に年初来の不振が続いたファンダメンタル・モデルの損失を相殺するほどではありませんでした。

2020年に入ると、1月に市場の相場が上昇したことから、一部の投資先ファンドのマネジャーはリスク・オン・ポジションの恩恵を受けました。2月には、新型コロナウイルスの感染拡大が急激な反転をもたらした、これらのポジションを弱体化させた結果、ほとんどの、場合によってはすべての利益を失いました。3月には、トレンド追従型のリターンはかなり分散していました。ボラティリティの大幅な上昇に迅速に対応することができるプログラムは、株式と信用においてロングからショートに移行し、それにより損失を回避しました。遅いモデルのトレンドフォロワーは、主にエクイティのロング・ポジションの損失により、同月をマイナスで終えました。Two Sigma Absolute Return Macro EnhancedやTwo Sigma Compass Enhanced Cayman Fundなどのシステムティック・マクロ・プログラムは、第1四半期に大打撃を受けたプログラムの1つです。いずれの場合も、短期的なトレンドシグナルは、市場の下

落に向かう中長期的な平均回帰モデルを十分に打ち消すことはありませんでした。

2020年第2四半期には、ポートフォリオ内のファンドのリターンはまちまちでした。少数の例外を除き、3月の市場の急落を上手く活用できたマネジャーの多くは、4月および5月に利益の一部を失いました。一方で、市場の急落時にマイナスのリターンを示したマネジャーは、全般的に損失の一部を取り戻すことができました。システムティックな短期戦略が当四半期中に再び好成績を上げ、資産クラス全体に日中の短期的な取引機会をもたらした高いボラティリティ体制の恩恵を受けました。マクロ・システムティック・ストラテジーは、テクニカル・モデルがファンダメンタル・モデルの損失を上回った4月および5月に好成績を上げました。Man AHL Evolution Frontier Fundは、市場が持ち直す中でエネルギーのショート・ポジションで損失を計上し、厳しい5月となりました。

7月は、主にシステムティック・マクロ・マネジャーおよび中期的なトレンド追隨に起因し、当ファンドのマネジャー全体で上向きとなりました。システムティック・マクロ・マネジャーについては、テクニカル・モデルとファンダメンタル・モデルの間に利益が均等に分配されました。短期的なシステムティック・マネジャーは、7月にも株式市場を中心に利益を上げました。Tewksbury Investment Fundは、強気な第2四半期に続き、株式先物が大部分の利益を上げて7月も好調な月となりました。

■投資の対象とする有価証券の主な銘柄

当期末現在における有価証券の主な銘柄については、後記「IV. ファンドの経理状況 (3) 投資有価証券明細表等」をご参照ください。

■今後の運用方針

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンドは、今後も引き続き、前記「運用方針」および「ファンドの運用方法」に従って運用を行います。

(2) 費用の明細

項目	項目の概要	
管理報酬、投資顧問報酬	純資産総額の年率1.65%	管理報酬は、信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。 投資顧問報酬は、投資顧問契約に基づく投資顧問業務の対価として投資顧問会社に支払われます。
受託報酬、保管報酬	純資産総額の年率0.10%	受託報酬は、信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社に支払われます。 保管報酬は、受託報酬から支払われます。
成功報酬	ある評価時点の受益証券一口当たり純資産価格の（現行実績期間開始時の受益証券一口当たり純資産価格に対する）上昇率が、関連するインデックスのリターンを超える場合、インデックス新規超過額の10%の成功報酬が計上されます。実績期間は、各暦年（12月31日）に終了します。	成功報酬は、ファンド資産の運用業務の対価として、管理会社に支払われます。
その他の費用（当期）	0.42%	法的費用、監査報酬（監査人に支払う監査に係る報酬等）、公告費用、仲介手数料、印刷、税金、登録手数料等（これらに限られません。）の手数料および費用がファンドにより支払われます。

（注1）各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

（注2）各項目の費用は、ファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

Ⅱ. 直近10期の運用実績

(1) 純資産の推移

下記各会計年度末および第23会計年度中における各月末の純資産の推移は、以下の通りです。

	純資産総額		一口当たり純資産価格		
	千米ドル	百万円	クラス	米ドル／ユーロ	円
第十四会計年度末 (平成23年7月末日)	381,012	39,583	USD	154.66	16,068
			EUR	139.75	17,382
第十五会計年度末 (平成24年7月末日)	315,159	32,742	USD	153.25	15,921
			EUR	138.73	17,255
第十六会計年度末 (平成25年7月末日)	196,456	20,410	USD	130.74	13,583
			EUR	118.25	14,708
第十七会計年度末 (平成26年7月末日)	88,550	9,199	USD	132.52	13,768
			EUR	119.80	14,901
第十八会計年度末 (平成27年7月末日)	68,429	7,109	USD	151.04	15,692
			EUR	137.19	17,064
第十九会計年度末 (平成28年7月末日)	54,256	5,637	USD	171.11	17,777
			EUR	154.52	19,219
第二十会計年度末 (平成29年7月末日)	61,797	6,420	USD	159.54	16,575
			EUR	141.52	17,602
第二十一会計年度末 (平成30年7月末日)	58,879	6,117	USD	161.89	16,819
			EUR	139.65	17,370
第二十二会計年度末 (令和元年7月末日)	61,222	6,360	USD	175.12	18,193
			EUR	146.79	18,258
第二十三会計年度末 (令和2年7月末日)	56,866	5,908	USD	159.49	16,569
			EUR	130.73	16,260
令和元年8月末日	61,823	6,423	USD	176.64	18,351
			EUR	147.79	18,382
9月末日	60,492	6,285	USD	173.11	17,984
			EUR	144.12	17,926
10月末日	60,371	6,272	USD	171.42	17,809
			EUR	142.41	17,713
11月末日	59,930	6,226	USD	171.40	17,807
			EUR	142.17	17,683
12月末日	59,641	6,196	USD	172.76	17,948
			EUR	142.88	17,771
令和2年1月末日	59,470	6,178	USD	172.90	17,963
			EUR	142.72	17,752
2月末日	56,205	5,839	USD	163.67	17,004
			EUR	134.88	16,776
3月末日	53,862	5,596	USD	158.46	16,462
			EUR	130.42	16,222
4月末日	53,316	5,539	USD	158.07	16,422
			EUR	129.90	16,157
5月末日	52,917	5,498	USD	157.06	16,317
			EUR	129.01	16,046
6月末日	52,286	5,432	USD	155.13	16,116
			EUR	127.39	15,845
7月末日	56,866	5,908	USD	159.49	16,569
			EUR	130.73	16,260

(注1) アメリカ合衆国ドル（以下「米ドル」といいます。）およびユーロの円貨換算は、便宜上、令和2年11月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝103.89円および1ユーロ＝124.38円）によります。以下、米ドルおよびユーロの円貨表示は別段の記載がない限りこれによるものとします。

(注2) 「クラス」欄の「USD」とは、米ドル・クラス受益証券、「EUR」とは、ユーロ・クラス受益証券のことをいいます。

(2) 分配の推移

ファンドは、分配金相当額を再投資する累積型であり、分配の推移について該当事項はありません。

(3) 販売および買戻しの実績

下記会計年度における販売および買戻しの実績、ならびに下記会計年度末日現在の発行済口数は、以下のとおりです。

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド(米ドル・クラス)

	販売口数	買戻口数	発行済口数
第十四会計年度	763,465.87 (13,537.55)	321,531.61 (72,765.29)	1,535,445.37 (303,134.09)
第十五会計年度	208,093.49 (0)	486,325.60 (0)	1,257,213.26 (303,134.09)
第十六会計年度	98,476.61 (0.00)	645,224.59 (180,050.83)	710,465.28 (123,083.26)
第十七会計年度	32,585.12 (0.00)	320,549.33 (50,657.05)	422,501.07 (72,426.21)
第十八会計年度	4,632.66 (3,336.23)	115,618.20 (20,479.82)	311,515.53 (55,282.62)
第十九会計年度	0.00 (0.00)	52,335.62 (20,367.47)	259,179.91 (34,915.15)
第二十会計年度	8,423.72 (4,332.94)	28,575.65 (13,645.86)	239,027.98 (25,602.23)
第二十一会計年度	12,528.14 (0.00)	18,704.87 (5,529.80)	232,851.25 (20,072.43)
第二十二会計年度	230.40 (0.00)	9,052.61 (4,590.11)	224,029.04 (15,482.32)
第二十三会計年度	0.00 (0.00)	7,606.86 (2,696.63)	216,422.18 (12,785.69)

(注) ()の数字は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。以下同じです。

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド(ユーロ・クラス)

	販売口数	買戻口数	発行済口数
第十四会計年度	96,438.10 (0)	49,247.79 (0)	189,908.75 (2,257.38)
第十五会計年度	22,105.19 (0)	78,056.42 (0)	133,957.52 (2,257.38)
第十六会計年度	10,920.48 (0.00)	128,613.49 (1,084.76)	16,264.51 (1,172.62)
第十七会計年度	55.48 (0.00)	7,115.28 (0.00)	9,204.71 (1,172.62)
第十八会計年度	7.45 (0.00)	4,204.77 (0.00)	5,007.39 (1,172.62)
第十九会計年度	0.00 (0.00)	1,045.60 (0.00)	3,961.79 (1,172.62)
第二十会計年度	0.00 (0.00)	1,549.67 (1,172.62)	2,412.12 (0.00)
第二十一会計年度	0.00 (0.00)	1,654.72 (0.00)	757.40 (0.00)
第二十二会計年度	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)	757.40 (0.00)
第二十三会計年度	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)	757.40 (0.00)

Ⅲ. 純資産額計算書

(令和2年7月末日現在)

		千米ドル (Ⅳ、Ⅴを除く)	百万円 (Ⅳ、Ⅴを除く)
Ⅰ 資産総額		59,487	6,180
Ⅱ 負債総額		2,621	272
Ⅲ 純資産総額 (Ⅰ－Ⅱ)		56,866	5,908
Ⅳ 発行済口数	米ドル・クラス	216,422.18	
	ユーロ・クラス	757.40	
Ⅴ 受益証券1口当たり純資産 価格 (Ⅲ／Ⅳ)	米ドル・クラス	159.49米ドル	16,569円
	ユーロ・クラス	130.73ユーロ	16,260円

IV. ファンドの経理状況

- a. ファンドの直近会計年度の日本文の財務書類は、ガーンジーにおける法令および英国会計基準に準拠して作成された原文の財務書類を翻訳したものである（ただし、円換算部分を除く。）。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」（平成5年大蔵省令第22号。その後の改正を含む。）に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。その後の改正を含む。）第131条第5項ただし書の規定の適用によるものである。
- b. ファンドの原文の財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号。その後の改正を含む。）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）であるプライスウォーターハウスクーパース・シーアイ・エルエルピーから監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するもの（訳文を含む。）が当該財務書類に添付されている。なお、ファンドの監査人は、受託会社の承認を得て、管理会社により任命され、解任される。
- c. ファンドの原文の財務書類は、米ドルで表示されている。日本文の財務書類には、主要な金額について円換算額が併記されている。日本円への換算には、便宜上、令和2年11月30日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル=103.89円）が使用されている。なお、百万円未満の金額は四捨五入されている。
- d. ファンドの財務書類の原文と日本文に齟齬がある場合、原文が優先する。

連結財務書類の監査に関する報告

我々の意見

我々は、連結財務書類が、FRS 102「英国およびアイルランド共和国で適用される財務報告基準」（以下「FRS 102」という。）を含む英国会計基準に準拠して、2020年7月31日現在のHSBC トレーディング・アドバンテージ・ファンド（以下「トラスト」という。）およびその子会社（以下、総称して「ファンド」という。）の連結財政状態および同日に終了した年度における財務実績について真実かつ公正な概観を与えており、信託証書の規定に従って適正に作成されているものと認める。

我々が監査したもの

ファンドの連結財務書類は、以下の書類によって構成される。

- －2020年7月31日現在の連結貸借対照表
- －同日に終了した年度の連結総収益計算書
- －ファンドの受益者に帰属する連結純資産変動計算書
- －重要な会計方針の記述を含む連結財務書類の注記

意見の根拠

我々は、国際監査基準（ISA）に従って監査を行った。これらの基準に基づく我々の責任の詳細を本報告書の「連結財務書類の監査についての監査人の責任」に記載する。

我々は、我々が入手した監査証拠が、我々の監査意見の基礎を提供するのに十分かつ適切であると判断している。

独立性

我々は、国際会計士倫理基準審議会（IESBA）の職業会計士倫理規程（国際独立性基準を含む。）およびSECの独立性規則に従ってファンドから独立している。我々は、IESBAの職業会計士倫理規程に従ってその他の倫理的責任を果たしている。

その他の情報

管理会社は、その他の情報について責任を負う。その他の情報は、年次報告書および監査済連結財務書類に含まれるすべての情報によって構成される（ただし、連結財務書類およびそれに関する我々の監査報告書は含まない。）。

我々の連結財務書類についての意見は、その他の情報には及ばず、いかなる形態の確証の結論も表明しない。

さらに、我々の連結財務書類の監査に関連して、上記のその他の情報を確認することにより、その他の情報が連結財務書類または我々が監査において取得した情報と著しく矛盾するかまたはその他の情報に重大な虚偽記載が見られるかについて確認することは我々の責務である。実施された確認作業に基づき、その他の情報に虚偽記載があると判断した場合には、我々はこれを報告する義務がある。これにつき、我々から報告する事項はない。

連結財務書類に対する管理会社の責任

管理会社は、FRS 102を含む英国会計基準および信託証書の規定に準拠して、真実かつ公正な概観を与える連結財務書類を作成し、また不正によるか誤謬によるかを問わず、重大な虚偽記載のない連結財務書類の作成に必要であると管理会社が判断する内部統制について責任を負う。

連結財務書類の作成に当たり、管理会社は、ファンドを清算もしくは運営を停止しようとする場合またはそうする以外に現実的な代替案がない場合を除き、ファンドの継続企業としての存続能力を評価し、該当する場合には継続企業の前提に関する事項を開示し、継続企業の会計ベースを使用する責任を負う。

連結財務書類の監査についての監査人の責任

我々の目的は、連結財務書類全体に、不正によるか誤謬によるかを問わず、重要な虚偽記載がないかどうかについて合理的な確証を得て、我々の意見を含む監査報告書を発行することである。合理的な確証は高度な確証であるが、国際監査基準に従って行われた監査によって、重大な虚偽記載が存在する場合には必ずこれを特定できることまで保証するものではない。虚偽記載は、不正または誤謬によって発生することがあり、個別的にまたは総体的に見て、連結財務書類に基づく利用者の経済的意思決定に影響を及ぼすと合理的に予想される場合には重大な虚偽記載とみなされる。

国際監査基準に基づく監査の一環として、我々は、一連の監査の過程で、専門家としての判断を下し、職業的懐疑心を維持した。我々はまた、以下の事項を行う。

- 不正によるか誤謬によるかを問わず、連結財務書類の重大な虚偽記載のリスクの特定および分析、それらのリスクに対応する監査手続の立案および実施、ならびに我々の監査意見の基礎を提供するのに十分かつ適切である監査証拠の取得。不正による重大な虚偽記載を特定できないリスクは、不正が共謀、偽造、意図的な省略、不当表示もしくは内部統制の無視が関係している場合があるため、誤謬によって生じた虚偽記載を特定できないリスクより大きい。
- 状況に適合する監査手続を立案するため、監査に関する内部統制の把握。ただし、これはファンドの内部統制の有効性について意見を表明するものではない。
- 管理会社により採用された会計方針の適切性ならびに行われた会計上の見積りおよび関連する開示の合理性についての評価。
- 管理会社が継続企業の会計ベースを使用することの適切性および入手した監査証拠に基づきファンドの継続企業としての存続能力に重要な疑義を生じさせるような事由または状況について、重大な不確実性が存在するかについての判断。我々が重大な不確実性が存在すると判断した場合、我々は、監査報告書において、連結財務書類における関連する開示情報に注意を払い、当該開示情報が不十分な場合は、我々の意見を改めることを要する。我々の結論は、監査報告書の日付までに取得した監査証拠に基づくものである。ただし、将来の出来事または状況によっては、ファンドが継続企業として存続することができない可能性がある。
- 開示情報を含む連結財務書類の全体の表示、構成および内容の評価ならびに連結財務書類において対象取引および出来事が公正に表示されているかの評価。
- 連結財務書類についての意見を表明するためのファンド内の事業体または事業活動の財務情報に係る適切な監査証拠の取得。我々は、ファンドの監査に対する指揮、監督および実施について責任を負う。我々は、監査の意見についての全責任を負う。

我々は、監査の過程で特定した内部統制の重大な不備を含む監査の予定された範囲および時期ならびに重大な指摘事項について、ガバナンス責任者と意思疎通を図る。

本報告の使用

意見を含む本独立監査人報告書は、2013年認可集団投資スキーム（クラスB）規則4.02(3)および信託証書に従い、全体としての受益者のためにのみ作成されており、その他の目的を有するものではない。我々が事前の同意書面により明示的に合意する場合を除き、我々は、本意見を表明するにあたり、その他いかなる目的においてもまたは本報告書を提示されたもしくは本報告書を入手したその他いかなる者に対しても責任を負うものではなく、引き受けるものでもない。

[署名]

プライスウォーターハウスクーパース・シーアイ・エルエルピー

勅許会計士

チャネル諸島、ガーンジー、

2020年11月30日

Independent auditor's report to the unitholders of HSBC Trading Advantagedge Fund

Report on the audit of the consolidated financial statements

Our opinion

In our opinion, the consolidated financial statements give a true and fair view of the consolidated financial position of HSBC Trading Advantagedge Fund (the "trust") and its subsidiaries (together the "Fund") as at 31 July 2020, and of their consolidated financial performance for the year then ended in accordance with United Kingdom Accounting Standards, comprising FRS 102 "The Financial Reporting Standard applicable in the UK and Republic of Ireland" ("FRS 102") and have been properly prepared in accordance with the provisions of the Trust Deed.

What we have audited

The Fund's consolidated financial statements comprise:

- the consolidated balance sheet as at 31 July 2020;
- the consolidated statement of total return for the year then ended;
- the consolidated statement of changes in net assets attributable to the unitholders of the Fund for the year then ended; and
- the notes to the consolidated financial statements, which include a description of the significant accounting policies.

Basis for opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing ("ISAs"). Our responsibilities under those standards are further described in the *Auditor's responsibilities for the audit of the consolidated financial statements* section of our report.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Independence

We are independent of the Fund in accordance with the International Code of Ethics for Professional Accountants (including International Independence Standards) issued by the International Ethics Standards Board for Accountants ("IESBA Code") and with SEC Independence Rules. We have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with the IESBA Code.

Other information

The manager is responsible for the other information. The other information comprises all the information included in the Annual Report and Audited Consolidated Financial Statements but does not include the consolidated financial statements and our auditor's report thereon.

Our opinion on the consolidated financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the consolidated financial statements, our responsibility is to read the other information identified above and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the consolidated financial statements or our knowledge obtained in the audit, or otherwise appears to be materially misstated. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Independent auditor's report to the unitholders of HSBC Trading Advantagedge Fund (continued)

Responsibilities of the manager for the consolidated financial statements

The manager is responsible for the preparation of the consolidated financial statements that give a true and fair view in accordance with United Kingdom Accounting Standards, comprising FRS 102, the provisions of the Trust Deed and for such internal control as the manager determines is necessary to enable the preparation of consolidated financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the consolidated financial statements, the manager is responsible for assessing the Fund's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless the manager either intends to liquidate the Fund or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Auditor's responsibilities for the audit of the consolidated financial statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the consolidated financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these consolidated financial statements.

As part of an audit in accordance with ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional scepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the consolidated financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Fund's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by the manager.
- Conclude on the appropriateness of the manager's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Fund's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the consolidated financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Fund to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the consolidated financial statements, including the disclosures, and whether the consolidated financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.
- Obtain sufficient appropriate audit evidence regarding the financial information of the entities or business activities within the Fund to express an opinion on the consolidated financial statements. We are responsible for the direction, supervision and performance of the Fund audit. We remain solely responsible for our audit opinion.

Independent auditor's report to the unitholders of HSBC Trading Advantaged Fund (continued)

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

Use of this report

This independent auditor's report, including the opinion, has been prepared for and only for the unitholders as a body in accordance with Paragraph 4.02(3) of The Authorised Collective Investment Schemes (Class B) Rules 2013 and the Trust Deed and for no other purpose. We do not, in giving this opinion, accept or assume responsibility for any other purpose or to any other person to whom this report is shown or into whose hands it may come save where expressly agreed by our prior consent in writing.



PricewaterhouseCoopers CI LLP
Chartered Accountants
Guernsey, Channel Islands
30 November 2020

(1) 貸借対照表

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド

連結貸借対照表

2020年7月31日現在

	注	2020年7月31日現在		2019年7月31日現在	
		千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
資産：					
流動資産					
組入投資有価証券		51,818	5,383	62,032	6,445
債権	6	4,685	487	6	1
現金および現金同等物	7	2,984	310	38	4
		<u>7,669</u>	<u>797</u>	<u>44</u>	<u>5</u>
資産合計		59,487	6,180	62,076	6,449
負債：					
債務：一年以内に期限の到来する金額	8	(2,621)	(272)	(854)	(89)
負債合計		<u>(2,621)</u>	<u>(272)</u>	<u>(854)</u>	<u>(89)</u>
ファンドの受益者に帰属する純資産	23	<u>56,866</u>	<u>5,908</u>	<u>61,222</u>	<u>6,360</u>

本連結財務書類は、2020年11月30日付で管理会社であるHSBC マネジメント（ガーンジー）リミテッドにより承認され、代表して以下により署名された。

[署名]

スティーブン・ルーセル

取締役、HSBC マネジメント（ガーンジー）リミテッドを代表して

[署名]

ジェイソン・リディ

取締役、HSBC マネジメント（ガーンジー）リミテッドを代表して

添付の注記は、本連結財務書類と不可分のものである。

(2) 損益計算書

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド

連結総収益計算書

2020年7月31日終了年度

	注	2020年7月31日終了年度		2019年7月31日終了年度	
		千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
収益：					
純キャピタル（ロス）／ゲイン	3	(3,568)	(371)	5,264	547
その他の収益		130	14	2	0
財務費用：支払利息		(24)	(2)	(1)	(0)
運用費用	4	(932)	(97)	(1,191)	(124)
純費用		(956)	(99)	(1,192)	(124)
ファンドの受益者に帰属する純資産の 投資活動による変動		(4,394)	(456)	4,074	423

全ての業績は、継続的な事業から発生している。

ファンドは、その他包括利益の内訳項目を有していないため、ファンドの受益者に帰属する純資産の変動は、当期包括利益合計を反映している。

ファンドの受益者に帰属する純資産の連結変動計算書

2020年7月31日終了年度

	2020年7月31日終了年度		2019年7月31日終了年度	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
期首現在のファンドの受益者に帰属する 純資産	61,222	6,360	58,879	6,117
買戻可能参加受益証券の発行および買戻し による変動：				
発行受領額／未収額	3,162	329	2,408	250
控除：買戻支払額／未払額	(3,124)	(325)	(4,139)	(430)
	38	4	(1,731)	(180)
ファンドの受益者に帰属する純資産の 投資活動による変動	(4,394)	(456)	4,074	423
期末現在のファンドの受益者に帰属する 純資産	56,866	5,908	61,222	6,360

添付の注記は、本連結財務書類と不可分のものである。

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド

財務書類に対する注記

1 ファンドの構造

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド（以下「トラスト」という。）は、1987年ガーンジー投資者保護法（改訂済）により認可され、2013年認可集団投資スキーム（クラスB）規則の規定の適用を受ける、アンブレラ型ファンドとして設立されたオープン・エンド型のガーンジーのユニット・トラストであるHSBC ユニ・フォリオのサブ・ファンドである。

トラストの管理会社の登録事務所は、チャネル諸島、GY1 1WA、ガーンジー、セント・ピーター・ポート、セント・ジュリアンズ・アベニュー、アーノルド・ハウスである。

トラストは、全額出資子会社であり、英領ヴァージン諸島において登録済の会社であるHSBCトレーディング・アドバンテージ・インベストメンツ・リミテッド（以下「投資対象保有会社」という。）を通じて投資を行う。トラストの勘定で取得されたすべての投資有価証券は、投資対象保有会社により保有される。投資対象保有会社の目的は、当該投資有価証券からの分配金に係る源泉税が還付されることを確実にすることである。

本連結財務書類は、トラストおよび投資対象保有会社（以下、総称して「ファンド」という。）のすべての資産および負債を含んでいる。

トラストは、2014年7月1日付で、オルタナティブ投資ファンドとして英国の金融行動監視機構およびルクセンブルグの金融監督委員会に登録し、当該国々で私募に基づき利用できる。非EEAのオルタナティブ投資ファンド運用会社を有する非EEAオルタナティブファンドとして、トラストはAIFMD下で認可または規制を受けておらず、これに従い、預託を有することは義務付けられていない。

コンプライアンス声明

連結財務諸表は、英国およびアイルランド共和国で適用される財務報告基準（以下「FRS 102」という。）および投資運用協会が2014年5月に発行し、2015年1月1日以降に開始する会計期間につき効力が生じる会計実務勧告書（以下「SORP」という。）に従い作成された。

2 主要な会計方針

以下の会計方針が、本連結財務書類に関して重要と考えられる項目の取扱いについて継続して適用されている。

作成の基礎

連結財務書類は、継続企業を前提に、一定の金融資産および金融負債を公正価値により認識および測定するために修正された取得原価主義に従い作成されている。

継続企業

署名日現在、管理会社の取締役らにおいてファンドが継続企業を前提とするものではないと信じる理由がないため、連結財務書類は継続企業の前提で作成された。

見積および判断の使用

FRS 102の認識および測定に関する原則に準拠して連結財務書類を作成するために、経営陣は、方針の適用、資産および負債の報告額、本連結財務書類の日付現在の偶発資産および偶発債務の開示ならびに当期中の収益および費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積および仮定を行うことを要求される。

見積および関連する仮定は、過去の経験および現在の状況下で合理的であると思料される様々なその他の要因に基づいており、これにより、他の情報源からは直ちに明らかではない資産および負債の帳簿価格について判断するための基礎が形成される。実際の結果は、これらの見積と異なることがある。

より高度な判断や複雑性を含む分野、または仮定や見積が財務書類にとって重要な分野は、投資の機能通貨の決定および公正価値に関する会計方針ならびに注記13において開示されている。

連結の前提

連結財務書類は、トラストおよびその全額出資子会社HSBCトレーディング・アドバンテージ・インベストメンツ・リミテッドの決算情報を含む。当該子会社を設立した理由は、財務上の便宜を図るためであるため、管理会社は、トラストの単体貸借対照表を実体の伴う活動であるとは考えない。したがって、本連結財務書類には、単体貸借対照表は提示されていない。

機能通貨および表示通貨

機能通貨および表示通貨は米ドルであるが、これは、ファンドが運用を行う主たる経済環境における通貨が米ドルであることによる。

機能通貨の決定

機能通貨とは、ファンドが活動を行う主たる経済環境の通貨である。主たる経済環境の指標が混在している場合、経営陣は、対象となる取引、事象および状況についての経済的な影響を最も正確に表す機能通貨を決定するために判断を行う。経営陣は、ファンドの機能通貨は米ドルであると決定した。投資家に対する発行および買戻しの際の代金の受領および支払は、該当する受益証券クラスの通貨により行われる。

金融商品

ファンドは、金融商品につき、FRS 102のセクション11および12を適用することを選択した。

i) 金融資産

債権ならびに現金および現金同等物を含む基本的な金融資産は、当初、取引価格で認識される。ただし、金融取引については、将来受け取る価値を市場金利で割り引いた現在価値で測定される。かかる資産は、その後実効金利法を使用して償却原価で計上される。

各報告期間の終了時に、償却原価で測定される金融資産については、減損の客観的証拠が確認される。資産が減損されている場合、減損損失は、資産の帳簿価格と推定キャッシュ・フローを当初の実効金利で割り引いた現在価値との差額である。減損損失は連結総収益計算書で認識される。

投資ファンドへの投資およびデリバティブ契約を含むその他の金融資産は、当初、通常は取引価格となる公正価値で測定される。かかる資産は、その後公正価値で計上され、公正価値の変動は連結総収益計算書で認識される。

金融資産は、(a)資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利の期限が失効し、もしくは決済された場合、(b)資産の所有権に係る実質上すべてのリスクおよび収益が他の当事者に移転された場合、または(c)資産に対する支配権が、追加の制限を課すことなく資産を無関係の第三者に一方的に売却する現実的な能力を有する他の当事者に移転された場合、資産としての認識が終了する。

ii) 金融負債

債務および貸付債務を含む基本的な金融負債は、当初、取引価格で認識される。ただし、金融取引については、将来受け取る価値を市場金利で割り引いた現在価値で測定される。

債務および貸付債務は負債として分類され、その後実効金利法を使用して償却原価で計上される。

金融負債は、負債が消滅した場合、つまり、契約上の義務が履行され、取り消されまたは失効した場合に、負債としての認識が終了する。

iii) 投資の公正価値

投資ファンドへの投資は、ファンドが保有する投資対象の連結貸借対照表日付午後5時（ガーンジー時間）における一口当たり最終純資産価格で評価されている。公認の証券取引所またはその他の取引機関において値付けされていない投資対象ファンドへの投資は、当該投資対象のファンドの運用会社またはその管理事務代行会社により提供される純資産価格で評価されている。当該評価額は、監査されていないかそれ自体が見積額であることがある。

さらに、当該投資対象のファンドの運用会社またはその管理事務代行会社が、評価額をまったく、または時宜を得た方法で提供しないことがあり、評価額が入手できない場合には、かかる投資は、当該投資につき適切な評価技法を使用して投資顧問会社により評価される。公正価値を決定する際に、投資顧問会社は、適用ある場合、買戻しの停止、現金化の手続、サイド・ポケットへの投資およびその他の重要な要素の影響を考慮する。管理会社および受託会社の取締役会は、使用された評価が合理的でないと確信する理由を有しない。

投資有価証券に係る実現損益および未実現損益は、連結総収益計算書の純キャピタルゲインに含まれている。投資有価証券の売却に係る実現損益および未実現損益は、平均原価法を用いて決定される。投資有価証券の購入および売却は、取引日プラス1日基準で計上されている。

iv) 先渡為替予約

オープン先渡為替予約に係る未実現損益は、契約レートと契約終了レートの差額に基づき計算される。未実現評価益は資産として、未実現評価損は負債として連結貸借対照表に報告される。先渡為替予約に係るすべての純損益は、連結総収益計算書に計上される。

収 入

受取利息は、実効金利法を使用して認識される。受取配当は、支払を受け取る権利が確定した時点で認識される。その他すべての収益は、発生主義で認識される。収入は連結総収益計算書に含まれている。クラスに固有でないすべての収益は、当期中のファンドの純資産総額に比例して各受益証券クラスに割

り当てられる。クラスに固有のすべての収益は、関連する受益証券クラスに割り当てられる。

費用

費用は、発生主義で連結総収益計算書において認識されている。クラスに固有でないすべての費用は、当期中のファンドの純資産総額に比例して各受益証券クラスに割り当てられる。クラスに固有のすべての費用は、関連する受益証券クラスに割り当てられる。

支払利息

支払利息は、ファンドが有する信用枠から発生する。かかる費用は、連結総収益計算書で認識され、実効金利法を使用して算出される。

借入費用

借入費用は、ファンドが有する信用枠から発生する。かかる費用は、連結総収益計算書に発生主義で認識される。

外貨取引

外貨取引は、取引日現在の実勢為替レートで換算される。外貨建ての貨幣性資産および負債は、連結貸借対照表日付現在の実勢為替レートの終値で米ドルに換算される。

ファンドは、連結総収益計算書上に米ドル以外の通貨建て投資有価証券に係る実現為替差損益および未実現為替評価損益を計上する。米ドル以外の通貨建て未払金および未収金ならびに外貨取引から生じる実現為替差損益および未実現為替評価損益は、連結総収益計算書に反映される。

現金および現金同等物

現金および現金同等物は、手許現金、銀行通知預金、満期3か月以内の流動性の高いその他の短期投資商品および当座借越金を含む。当座借越金は、該当する場合、流動負債の借入金に表示される。

発行済受益証券

買戻可能参加受益証券は、ファンドの受益者の選択により買戻可能であり、金融負債として分類される。

取引費用

取引費用は、損益を通じて公正価値で測定される金融資産または金融負債の取得、発行または処分に直接起因する増分費用である。取引費用は、発生した場合、連結総収益計算書において認識される。

新たな基準および修正

現在、ファンドに重大な影響を及ぼすFRS 102に対する将来の修正は存在しない。

3 純キャピタル（ロス）／ゲイン

	2020年 7 月 31 日 終了年度 千米ドル	2019年 7 月 31 日 終了年度 千米ドル
デリバティブ以外の投資対象に係る実現純利益	4,544	560
デリバティブ以外の投資対象に係る未実現純（損失）／利益	(8,783)	5,742
デリバティブ投資対象に係る実現純利益	838	968
デリバティブ投資対象に係る実現純損失	(915)	(1,871)
デリバティブ投資対象に係る未実現純利益／（損失）	748	(135)
純キャピタル（ロス）／ゲイン合計	(3,568)	5,264

ファンドが保有するデリバティブ商品は、注記12に詳述するとおり、先渡為替契約である。

4 運用費用

	2020年 7 月 31 日 終了年度 千米ドル	2019年 7 月 31 日 終了年度 千米ドル
管理報酬（注 5）	(652)	(677)
成功報酬（注 5）	-	(135)
管理会社およびその関連会社への未払金	(652)	(812)
受託報酬（注 5）	(39)	(40)
受託会社およびその関連会社への未払金	(39)	(40)
監査報酬	(15)	(21)
その他諸費用（法的費用および専門家報酬を含む。）	(226)	(318)
その他の費用	(241)	(339)
運用費用合計	(932)	(1,191)

5 管理契約、受託契約および投資顧問契約

以下の表は、ファンドに対して請求された 1 株クラス当たり純資産額に対する管理報酬および受託報酬率の割合ならびに 1 株クラス当たりの成功報酬率の詳細を示す。

クラス	管理報酬	受託報酬	成功報酬
米ドル	1.65%	0.10%	10.00%
ユーロ	1.65%	0.10%	10.00%
Rクラス	0.65%	0.10%	10.00%
Sクラス*	0.15%	-	10.00%

*Sクラスに対する受託報酬は、管理報酬から支払われる。

当期の管理報酬、受託報酬および成功報酬ならびに期末現在未払のものは以下のとおりである。

	2020年 7 月 31 日 終了年度		2019年 7 月 31 日 終了年度	
報酬	当期の費用 米ドル	期末現在の未払 米ドル	当期の費用 米ドル	期末現在の未払 米ドル
管理報酬	652,054	-	676,698	-
受託報酬	39,247	-	40,441	-
成功報酬	-	-	134,945	134,945

管理会社は、投資顧問報酬を管理報酬から支払う。

6 債 権

	2020年 7 月31日 現在 千米ドル	2019年 7 月31日 現在 千米ドル
購入済投資有価証券の前払額	250	-
発行済ファンド受益証券に係る未収金額*	2,509	-
先渡為替契約に係る未実現評価益（注12）	673	6
その他未収額	1,253	-
	<u>4,685</u>	<u>6</u>

*2020年 7 月31日現在、トラストは、2020年 8 月20日付でトラストにより発行される参加受益証券に関して、2,509,149米ドル（2019年 7 月31日：ゼロ）の発行依頼を受領した。

7 現金および現金同等物

	2020年 7 月31日 現在 千米ドル	2019年 7 月31日 現在 千米ドル
現金および現金同等物	<u>2,984</u>	<u>38</u>

現金残高は、副保管受託銀行であるステート・ストリート・カストディアル・サービシーズ（アイルランド）リミテッドおよびHSBC ホールディングス・ピーエルシーを最終的な親会社とするHSBC バンク・ピーエルシー ガーンジー支店に保有されている。ファンドの現金は、副保管受託銀行の副保管ネットワーク内の分別勘定で保管されている。副保管受託銀行の親会社であるステート・ストリート・コーポレーションのスタンダード・アンド・プアーズ格付機関による信用格付は、2020年 7 月31日現在、Aであった（2019年 7 月31日：A）。HSBCホールディングス・ピーエルシーのムーディーズ格付機関による信用格付は、2020年 7 月31日現在、A2であった（2019年 7 月31日：A2）。

8 債務：一年以内に期限の到来する金額

	2020年 7 月31日 現在 千米ドル	2019年 7 月31日 現在 千米ドル
発行済受益証券の前受額*	(2,509)	(67)
買戻済ファンド受益証券に係る未払金額**	-	(456)
先渡為替契約に係る未実現評価損（注12）	(25)	(89)
未払成功報酬（注5）	-	(135)
その他の未払費用	(87)	(107)
	<u>(2,621)</u>	<u>(854)</u>

*2020年 7 月31日現在、トラストは、2020年 8 月20日付でトラストにより発行される参加受益証券に関して2,509,149米ドル（2019年 7 月31日：ゼロ）の発行申込みを受領した。

**2020年 7 月31日現在、未払いの買戻済ファンド受益証券に係る未払金額はない（2019年 7 月31日時点で、2019年 8 月28日に買い戻された受益証券に関して456,230米ドルの未払い金があった。）。

9 税 制

アンブレラ型ファンドであるHSBC ユニ・フォリオは、1989年ガーンジー所得税（免除機関）令に基づきガーンジーの所得税を免除されており、年次免除料として1,200英ポンド（2019年 7 月31日：1,200英ポンド）を課せられている。

10 発行済買戻可能参加受益証券口数

すべてのシリーズ受益証券は、収益および費用の配分について同じ順位であり、かつ同一の権利が付与されている。

下記の表は、会計年度期首および期末現在の発行済買戻可能参加受益証券を示す。

	2019年8月1日現在 発行済買戻可能 参加受益証券	発行	買戻し	2020年7月31日現在 発行済買戻可能 参加受益証券
米ドル・クラス	224,029.04	-	(7,606.86)	216,422.18
ユーロ・クラス	757.40	-	-	757.40
米ドル・Rクラス	9,330.48	-	-	9,330.48
スターリング・ Rクラス	6,543.06	-	(312.56)	6,230.50
ユーロ・ヘッジ・ Rクラス	906.85	-	-	906.85
米ドル・Sクラス	88,080.12	5,920.84	(9,933.04)	84,067.92
スターリング・ Sクラス	65,968.91	19,318.48	(5,359.14)	79,928.25
ユーロ・Sクラス	8,698.05	478.71	(325.51)	8,851.25
合計	404,313.91	25,718.03	(23,537.11)	406,494.83

	2018年8月1日現在 発行済買戻可能 参加受益証券	発行	買戻し	2019年7月31日現在 発行済買戻可能 参加受益証券
米ドル・クラス	232,851.25	230.40	(9,052.61)	224,029.04
ユーロ・クラス	757.40	-	-	757.40
米ドル・Rクラス	7,242.34	4,023.50	(1,935.36)	9,330.48
スターリング・ Rクラス	8,310.68	-	(1,767.62)	6,543.06
ユーロ・ヘッジ・ Rクラス	478.91	427.94	-	906.85
米ドル・Sクラス	94,971.37	9,360.75	(16,252.00)	88,080.12
スターリング・ Sクラス	62,471.25	6,085.30	(2,587.64)	65,968.91
ユーロ・Sクラス	8,291.89	406.16	-	8,698.05
合計	415,375.09	20,534.05	(31,595.23)	404,313.91

以下の表は、過去3年間の期末現在の純資産を千米ドル単位で示す。

	2020年7月31日	2019年7月31日	2018年7月31日
米ドル・クラス	34,518	39,231	37,694
ユーロ・クラス	117	124	124
米ドル・Rクラス	1,128	1,226	871
スターリング・Rクラス	947	1,016	1,301
ユーロ・ヘッジ・Rクラス	115	120	63
米ドル・Sクラス	8,639	9,770	9,593
スターリング・Sクラス	10,399	8,713	8,271
ユーロ・Sクラス	1,003	1,022	962
合計	56,866	61,222	58,879

ファンドの1口当たり純資産価格は、後述の投資有価証券明細表等に開示されている。

11 関係会社取引

HSBCエスエフティー (C.I.) リミテッド (旧HSBCプライベート・バンク (C.I.) リミテッド) は、ファンドの受託会社として役務を提供する。

また、ファンドは、当期を通じて定期的に、ステート・ストリート・バンクおよびHSBCバンク・ピー

エルシー ガーンジー支店に預金を有する。受取金利は、通常の商業預金で受け取られるものと一致している。

HSBCバンク・ピーエルシーは、HSBCエスエフティー（C. I.）リミテッド、HSBCバンク・ピーエルシーガーンジー支店および管理会社の親会社である。

投資顧問会社であるHSBCオルタナティブ・インベストメンツ・リミテッドは、管理会社および受託会社の関連当事者によって100%保有されている。

借入金／貸付け

HSBC バンク・ピーエルシー ガーンジー支店は、当期中、ファンドに信用枠を提供した。期末現在、信用枠に基づく借入れはなかった（2019年7月31日：ゼロ）。当期中に支払われた利息は24,433米ドル（2019年7月31日：581米ドル）で、当期中に取得した信用枠に関連するものである。

ファンドは、売買取引時の決済日不一致のため生じる現金不足をカバーするため1か月までの期間、および買戻資金調達のため3か月までの期間、その純資産総額の合計25%までの借入れを行うことができる。また、投資先ファンドへの追加投資を行う投資目的で、ファンドの純資産総額の最大10%までを条件に借入れを行うことができる。

注記5に概要が述べられている管理会社、受託会社および投資顧問会社に支払われた報酬を除き、当期中にその他の関係会社取引はなかった。

12 先渡為替契約

受益証券クラスは、機能通貨以外の通貨建てで表示されることがあり、一定の通貨エクスポージャーに関連する受益証券クラスの通貨にヘッジされている。この目的による通貨ヘッジのため、先渡為替契約もしくは当該契約に係るオプション、または利用可能で同等もしくは類似の効果があるその他のデリバティブ商品が利用されることがある。

ファンドは、投機目的によるデリバティブ商品への投資を行わない。投資顧問会社は、その絶対的な裁量で通貨ヘッジに関する方針を変更する権利を留保する。かかるヘッジのすべての費用は、関連する受益証券クラスの所有者のみが負担する。

2020年7月31日現在、HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンドのヘッジに関して、以下の先渡為替契約が未決済であった。

受益証券クラス	購入額	売却額	満期日	取引相手方	未実現評価益 ／（損） 千米ドル
ユーロ・クラス	91,252ユーロ	108,118米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・クラス	97,055ユーロ	108,813米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	6
ユーロ・クラス	545ユーロ	612米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・クラス	5,189ユーロ	6,156米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
スターリング・Sクラス	1,427,783英ポンド	1,874,508米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
スターリング・Sクラス	5,894,595英ポンド	7,755,006米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	(16)

スターリング・ Sクラス	50,941米ドル	41,498英ポンド	2020年8月30日	State Street Bank	(4)
スターリング・ Sクラス	424,965英ポンド	557,922米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
スターリング・ Sクラス	128,185英ポンド	157,362米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	11
スターリング・ Sクラス	6,298,378英ポンド	7,733,495米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	534
ユーロ・Sクラス	741,614ユーロ	878,689米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	1
ユーロ・Sクラス	4,417ユーロ	4,959米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・Sクラス	787,696ユーロ	883,118米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	51
ユーロ・Sクラス	40,730ユーロ	48,323米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・Sクラス	37米ドル	33ユーロ	2020年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・Sクラス	42,110ユーロ	49,957米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
スターリング・ Rクラス	655,151英ポンド	861,925米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	(2)
スターリング・ Rクラス	47,280英ポンド	62,072米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
スターリング・ Rクラス	750,757英ポンド	921,821米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	64
スターリング・ Rクラス	6,075米ドル	4,949英ポンド	2020年8月30日	State Street Bank	-
スターリング・ Rクラス	43,225米ドル	35,216英ポンド	2020年8月30日	State Street Bank	(3)
ユーロ・Rクラス	94,891ユーロ	106,386米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	6
ユーロ・Rクラス	532ユーロ	598米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・Rクラス	5,073ユーロ	6,018米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・Rクラス	89,296ユーロ	105,801米ドル	2020年8月30日	State Street Bank	-
先渡為替契約に係る未実現評価益合計（注6）					673
先渡為替契約に係る未実現評価損合計（注8）					(25)
先渡為替契約に係る未実現純評価益					648

2019年7月31日現在、HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンドのヘッジに関して、以下の先渡為替契約が未決済であった。

受益証券クラス	購入額	売却額	満期日	取引相手方	未実現評価益 ／（損） 千米ドル
ユーロ・クラス	111,087ユーロ	123,904米ドル	2019年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・クラス	2,791米ドル	2,503ユーロ	2019年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・ヘッジ・ Rクラス	107,597ユーロ	120,011米ドル	2019年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・ヘッジ・ Rクラス	2,702米ドル	2,423ユーロ	2019年8月30日	State Street Bank	-
スターリング・ Rクラス	844,746英ポンド	1,037,941米ドル	2019年8月30日	State Street Bank	(9)
スターリング・ Rクラス	33,550米ドル	27,184英ポンド	2019年8月30日	State Street Bank	-

スターリング・ Sクラス	7,296,883英ポンド	8,965,695米ドル	2019年8月30日	State Street Bank	(80)
スターリング・ Sクラス	50,319英ポンド	61,281米ドル	2019年8月30日	State Street Bank	-
スターリング・ Sクラス	290,187米ドル	235,123英ポンド	2019年8月30日	State Street Bank	4
ユーロ・Sクラス	917,032ユーロ	1,022,837米ドル	2019年8月30日	State Street Bank	2
ユーロ・Sクラス	5,422ユーロ	6,058米ドル	2019年8月30日	State Street Bank	-
ユーロ・Sクラス	23,038米ドル	20,663ユーロ	2019年8月30日	State Street Bank	-
先渡為替契約に係る未実現評価益合計（注6）					6
先渡為替契約に係る未実現評価損合計（注8）					(89)
先渡為替契約に係る未実現純評価損					(83)

13 金融商品

市場リスクの監督

管理会社は、リスク管理について、英文目論見書に記載されたファンドの投資規制に従ったポートフォリオの監督および監視とあわせて、管理会社の選考およびポートフォリオ管理プロセスに伴うリスクの理解および管理とともに、重層的なアプローチ法をとる。

管理会社の選考の際、リターンを求めてヘッジ・ファンドのマネジャーがとるリスクが適切であり、かつ管理されているか理解することを中心にデュー・デリジェンスが行われる。投資に焦点を当てたかかるデュー・デリジェンスを補完するのは別個のオペレーショナル・デュー・デリジェンス・プロセスであり、当該プロセスは、ヘッジ・ファンドの事業および運営（非投資）リスクを評価し、不十分な構造やプロセスによって投資を損なう可能性のあるヘッジ・ファンドを避けようと努めている。

ポートフォリオ管理では、ポートフォリオが適切に分散されていることを確保することが最重要事項である。リスクおよびポートフォリオの分散化を査定するために、リターンおよびエクスポージャーに基づく分析を含む、定性的手法と定量的手法の両方が用いられる。

管理会社は、各投資先ファンドによる投資規制の遵守状況を月次ベースで監視し、リスク管理プロセスのあらゆる要素の監督を行う。

ファンドの金融商品から生じる主なリスクは、市場リスク、流動性リスクおよび信用リスクである。

市場リスク

市場リスクは、主にファンドが保有する金融商品の将来価格の不安定性から生じる。それは、価格変動に直面する市場持高を保有することによりファンドが被ることがある潜在的損失を表している。投資顧問会社は、ファンドの投資方針に従いつつ、特定の国または産業分野に関連するリスクを最小限にするために組入有価証券の資産配分を検討する。

市場リスクは、利益および損失の両方の可能性を表し、価格リスク、為替リスクおよび金利リスクを含んでいる。ファンドの投資プログラムの収益性は、かなりの割合で、有価証券、株式およびその他投資対象の将来の価格変動の方向性についての正確な評価にかかっている。管理会社がかかる価格変動を正確に予測することができるという保証はない。証券市場は、近年、非常に不安定で予測ができないという特徴を有している。投資顧問会社がファンドの資産を投資する投資戦略に関しては、常にある程度の、時には重大な市場リスクが存在する。連結貸借対照表日付現在のファンドの組入投資有価証券の詳細

細は、後述の投資有価証券明細表に開示されている。

ファンドは、一般的に、感応度・シミュレーション分析ならびに想定最大損失額（以下「VaR」という。）計測を含むがこれに限られない複数のリスク分析手法を用いてポジションの開始、増加、減少または解消を図る。これらのリスク分析手法は、所定の期間にわたり各ポジションにつき発生した過去最大の潜在的損失の信頼水準を決定するために過去および将来のボラティリティおよび変動の統計的分析を使用する。損失が発生しないとの保証や、過去のパフォーマンスが将来の運用成果の指標となる保証はない。

VaR計算は、ポートフォリオの各保有資産のモンテカルロ・シミュレーションを統合したものであり、シミュレーションされたポートフォリオ1,000個のリターンを示す。

リターンは、期待収益率およびボラティリティを定数とする確率過程の増分としてシミュレートされ、このため、連続的な幾何ブラウン運動に近似する。

以下のデータは、ファンド価格、金利および外国為替相場の悪化により1日に発生する可能性のある価値の損失として測定されたファンドの金融商品のVaR（信頼水準99%）を示す。

	2020年7月31日現在	2019年7月31日現在
全体的市場VaR（99%）	(6.01%)	(6.63%)

(a) その他の価格リスク

価格リスクは、個々の投資対象もしくはその発行体に固有の要因によるかまたは市場で取引されるすべての投資有価証券に影響を及ぼす全要因により引き起こされるかどうかにかかわらず、市場価格の変動（金利リスクまたは為替リスクから生じるものを除く。）の結果として投資有価証券の価額が変動するリスクである。

ファンドは、英文目論見書に定義されている標準投資および借入制限に従うことが要求される。ファンドの投資制限は、ファンドの管理会社および受託会社により月次ベースで監視される。違反および持高が制限レベルに近づいた状況の監視および報告のために定められた特別な指針がある。

(b) 為替リスク

ファンドは、その機能通貨以外の通貨建ての金融商品に投資し、かかる取引を行うことができる。このため、ファンドは、他の外国通貨に対するその通貨の為替レートが、米ドル以外の通貨建てのファンド資産または負債の該当部分の価額に悪影響を及ぼす方向に変動するリスクにさらされる。

ファンドの為替リスクは、所定の方針および手続に従って投資顧問会社により毎月管理されている。ファンドの全体的な通貨持高およびエクスポージャーは、管理会社により月次ベースで監視される。

ファンドは、ファンドを為替リスクにさらすユーロ建ておよび英ポンド建ての買戻可能参加受益証券を販売している。当該リスクは、ファンドが受益者のために注記12に記述されている先渡為替契約を締結することにより軽減される。

(c) 金利リスク

ファンドの金融資産の大部分は、利息支払も満期日もない投資ファンドへの投資である。ファンドは、ファンドが投資する投資対象の公正価値に係る実勢市場金利水準の変動の影響に伴うリスクに

さらされる。

期末現在、ファンドの借入金残高はなかった（2019年7月31日：ゼロ）。当期中に取得した信用枠に関連して、24,433米ドル（2019年7月31日：581米ドル）の利息が課された。

その他の資産および負債は、変動金利の対象である現金残高2,983,701米ドル（2019年7月31日：38,073米ドル）を除いて、金利リスクがない。

流動性リスク

流動性リスクとは、ファンドが金融負債に関連した債務の履行において困難に直面するリスクである。ファンドの主な負債は、投資者が売却することを希望する受益証券の買戻しである。リスクは、受益者が要求する金額を払い戻すためにファンドが投資持高を換金できないかもしれないことである。

ファンドの流動性リスクは、所定の方針および手続に従って投資顧問会社により継続的に管理される。投資信託、リミテッド・パートナーシップまたはその他の流動性のないビークルに直接投資することは、ファンドの通常の方針ではない。

英文目論見書に定義されているファンドの投資制限（そのうちのいくつかは流動性リスクおよびその集中に関するものである。）は、ファンドの管理会社および受託会社により月次ベースで監視される。違反および持高が制限レベルに近づいた状況の監視および報告のために定められた特別な指針がある。

管理会社は、英文目論見書に詳述のとおり、いずれかの取引日に買い戻されるファンドの受益証券口数を当該日の直前の当該発行済受益証券総数の5%またはこれを上回る割合以下に制限することができる。管理会社による当該裁量権の行使により買い戻されなかった受益証券は、次の取引日に繰り越され、その後買戻通知を受領したその他の受益証券に優先して比例的に買い戻されるものとする。

2020年7月31日および2019年7月31日現在、いずれの投資先ファンドについても、ファンドによる投資持高の買戻しに係る権利を制限する規定は設定されていなかった。

ファンドのすべての金融負債は、1か月以内に支払期限が到来し、ファンドの受益者に帰属する純資産は、英文目論見書に記載された期間に従って支払期限が到来する。注記10を参照。

信用リスク

信用リスクは、金融商品の取引相手方が債務またはファンドとの間で締結した契約を履行しないリスクである。

ファンドは、取引を行う相手方との信用リスクにさらされ、決済不履行のリスクも負う。

さらに、ファンドは、投資対象ファンドの信用リスクに間接的にさらされている。

実質的に、ファンドのすべての資産は、副保管受託銀行に保有されている。副保管受託銀行の破産または支払不能により、副保管受託銀行に保有される有価証券に関するファンドの権利行使が遅れるかまたは制限されることがある。ファンドは、ファンドが使用する副保管受託銀行の信用度を監視することによりそのリスクを監視する。副保管受託銀行の親会社であるステート・ストリート・バンク・コーポレーションのスタンダード・アンド・プアーズ格付機関による信用格付は、2020年7月31日現在、Aであった（2019年7月31日：A）。

HSBC ホールディングス・ピーエルシーを最終的な親会社とするHSBC バンク・ピーエルシー ガーンジー支店は当期中ファンドに信用枠を提供した。HSBCホールディングス・ピーエルシーのムーディーズ格付機関による信用格付は、2020年7月31日現在、A2であった（2019年7月31日：A2）。

公正価値ヒエラルキー

FRS 102は、資産および負債について公正価値測定を分類した公正価値ヒエラルキーに関する開示を要求している。開示は、公正価値を測定するための評価手法で使用するインプットの3段階の公正価値ヒエラルキーに基づく。

FRS 102が要求する公正価値ヒエラルキーは、金融資産および金融負債の公正価値を決定するために使用される評価インプットならびに個別の各金融資産および金融負債の市場の活発性の考慮に基づいている。レベル1、レベル2、レベル3の定義は、以下のとおりである。

レベル1：企業が測定日においてアクセスできる同一の資産または負債に関する活発な市場における、調整前の公表価格

レベル2：レベル1に含まれる公表価格以外の、資産または負債について直接または間接的に観察可能な（市場データの利用によりもたらされる）インプット

レベル3：資産または負債に関する観察不能な（市場データを利用できない）インプット

全体の公正価値測定が分類される公正価値ヒエラルキーのレベルは、全体の公正価値測定に重要であったインプットのうち最も低いもののレベルに基づき決定された。このため、インプットの重要性は、全体の公正価値測定に対し評価された。

公正価値測定において重大な調整を要する観察不能なインプットを必要とする観察可能なインプットを使用した場合、かかる測定はレベル3となった。全体の公正価値測定に対する特定のインプットの重要性を評価することは、資産または負債に特有の要因を考慮し、判断を必要とする。何が「観察可能」であるかを決めるに当たり、管理会社による重大な判断が必要であった。

管理会社は、即時に利用可能で、定期的に配信または更新され、信頼性があり検証可能で、独占的でなく、かつ関連市場に積極的に関与している独立した情報源によって提供される市場データをもって、観察可能なデータであると判断する。

(a) ヒエラルキー分析

以下の表は、2020年7月31日に公正価値で測定されたファンドの金融資産および金融負債の公正価値ヒエラルキーの分析を示す。

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
損益を通じて公正価値で測定する				
金融資産：				
投資ファンド	-	51,818	-	51,818
先渡為替契約	-	673	-	673
資産合計	-	52,491	-	52,491

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
負債	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
損益を通じて公正価値で測定する				
金融負債：				
先渡為替契約	-	(25)	-	(25)
負債合計	-	(25)	-	(25)

以下の表は、2019年7月31日に公正価値で測定されたファンドの金融資産および金融負債の公正価値ヒエラルキーの分析を示す。

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
損益を通じて公正価値で測定する				
金融資産：				
投資ファンド	-	62,032	-	62,032
先渡為替契約	-	6	-	6
資産合計	-	62,038	-	62,038

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
負債	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
損益を通じて公正価値で測定する				
金融負債：				
先渡為替契約	-	(89)	-	(89)
負債合計	-	(89)	-	(89)

(b) 公正価値ヒエラルキーのレベル間の移行

2020年7月31日または2019年7月31日に終了した会計年度中、公正価値ヒエラルキーのレベル1とレベル2との間の移行はなかった。

レバレッジ

ファンドがレバレッジを許可する場合、ファンドの潜在の変動性は、レバレッジが許可されなかった場合と比べ大幅に増大する。これはファンドがより大きなエクスポージャーを伴うことでより高いリターンに参加する機会を与える一方、市場全体が、または、ファンドが個別に投資した資産の価格が下落した場合、より大きな損失リスクにファンドをさらす。

ファンドが投資する可能性がある一定の投資ファンドは、高い水準のレバレッジを利用し、借入能力や証拠金借入の水準のいずれにおいても制限されていない。かかるファンドが保有するポジションの総額は、純資産総額を超える場合がある。取得したレバレッジは、全体的により多くの利益を達成する可能性を与えるが、ファンドの変動性を増加させ、投資した額をすべて失うリスクももたらす。ファンドの借入れの詳細については注記11を参照。

14 資本管理

トラストの資本は、ファンドの受益者に帰属する純資産によって表章される。トラストは、受益者からの月毎の買戻請求の対象となる。

資本管理に関するトラストの目的は、継続企業としての存在能力を保護することである。

管理会社は、ファンドの受益者に帰属する純資産価値に基づき資本をモニタリングしている。注記13に詳述のとおり、英文目論見書に定義されているファンドの投資制限（そのうちのいくつかは流動性リスクおよびその集中の管理に関するものである。）には、クローズド・エンド型ファンドへの投資に関する制限、買戻しに関する制限、個々の投資ファンドについて許容される保有比率に関する制限が含まれている。モニタリングおよび報告に違反があった場合ならびに持高が制限レベルに近づいた場合について定められた特別な指針がある。

ファンドは、売買取引に係る決済日の不一致により生じる現金不足を補うために、（ファンドの純資産総額の25%を上限とした）買戻しの資金調達のために、また、投資目的で（ファンドの純資産総額の10%を上限とした）投資ファンドへの追加投資を促進するために利用可能な借入枠も有している。注記11を参照のこと。

また、注記13に詳述のとおり、管理会社は、ファンドの流動性が不足した場合、いずれかの取引日に買い戻されるファンドの受益証券口数を当該日の直前の発行済受益証券総数の5%またはこれを上回る割合以下に制限することができる。かかる5%の制限は、各個別の受益証券口数に関してではなく、ファンド全体に関して計算されるものとする。

15 分配方針

管理会社は、分配金の支払を推奨していない。すべての収益は「再投資」され、分配されずにファンドに留保され、受益証券一口当たり純資産価格に反映される。

16 サイド・ポケット

2008年7月31日、管理会社は、ファンドが受益証券を保有していたディスカス・ノンUSサイド・ホールディングス・リミテッドが、不測の事態により破産を申請し、ディスカス・ファンド・リミテッドの管理会社がサイド・ポケット（以下「ディスカス・サイド・ポケット」という。）を設立したという通知を受けた。ファンドは、ディスカス・サイド・ポケットにおいて受益証券を発行された。

管理会社および受託会社は、2007年9月30日付で、ファンドにサイド・ポケットを設立し、ディスカス・サイド・ポケットの受益証券はファンドのポートフォリオからファンド・サイド・ポケットに移転された。移転日現在、ディスカス・ファンド・リミテッドへの投資は、ファンドの組入投資有価証券総額の4%に相当した。したがって、ディスカス・サイド・ポケットの受益証券は、評価上は、ファンドのポートフォリオの一部を形成するものではなく、ゼロ米ドルと評価された。

管理会社は、2007年9月30日の直前までのファンドの全受益者（以下「既存受益者」という。）の受益者名簿を維持し、受託会社は、ファンド・サイド・ポケットを既存受益者の利益のために有している。ファンドの受益証券を償還することを選択した既存受益者は、償還日後も引き続きファンド・サイド・ポケットで収受した収益について権利を有する。100米ドルの最低取引額に従い、ディスカス・サイド・ポケットから受領されたファンド・サイド・ポケットに係る収益は、以下のいずれかの場合に、ファンドにおける保有率に応じて全既存受益者に分配された。

1. 既存受益者が、購入日の実勢純資産価額で購入したファンドの追加受益証券として、ファンドの受益証券を引き続き保有する場合。
2. 配当日において、既存受益者が保有する受益証券をすべて、現金で償還させた場合。

当期中、ディスカス・サイド・ポケットの残りの受益証券5,654口が償還された

17 為替レート

資産および負債を報告通貨（米ドル）に換算するために、以下の為替レートが使用された。

	2020年7月31日現在	2019年7月31日現在
ユーロ	0.8435	0.8971
英ポンド	0.7618	0.8223

18 契約債務および偶発債務

2020年7月31日および2019年7月31日現在、ファンドは重要な契約債務または偶発債務を有していなかった。

19 支配当事者

管理会社は、ファンドの直接のまたは最終的な支配当事者が存在するものとは考えない。

20 期中の重要な事象

2020年3月、世界保健機関は、新型コロナウイルス感染症の流行をパンデミックであると宣言した。新型コロナウイルス感染症がファンドに与えた影響は、2020年上半期にファンドの純資産総額が12%減少した点に見られる。しかし、純資産総額の減少は効果的なリスク管理により軽減され、2020年7月および8月にはそれぞれ純資産総額が4%増加した。

当期中、連結財務書類に修正または開示が必要となるその他の重要な事象はなかった。

21 後発事象

新型コロナウイルスはまだ変化し続けている状況にあり、状況の評価には継続的な注意が必要とされ、時間とともに変化していくことが予想される。新型コロナウイルスの急速な進展と流動性により、最終的な影響を予測することは困難である。

管理会社は、問題の深刻さとそれが世界経済および世界中の多くのビジネスに及ぼす避けられない影響を過小評価していない。一部の中央銀行が既に金利引下げ等の措置を講じていることから明らかに、管理会社は、ウイルスの流行が一般経済に及ぼす影響は重大であると考えている。その結果、ファンドの投資ポートフォリオに影響が及ぶ可能性がある。管理会社は、適時に追加情報を提供する。

期末日以降、本連結財務書類に調整または開示が必要となるファンドに影響を及ぼすその他の重要な事象はなかった。

22 当期中の受益証券1口当たり最高および最低純資産価格

受益証券クラス	一口当たり純資産 価格の最高値	一口当たり純資産 価格の最安値
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド - 米ドル・クラス	176.63	155.13
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド - ユーロ・クラス	147.78	127.39
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド - ユーロ・ヘッジ・Rクラス	119.62	104.11
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド - 米ドル・Rクラス	132.60	117.53
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド - スターリング・Rクラス	128.70	112.66
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド - 米ドル・Sクラス	112.01	99.82

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド	109.52	96.39
- スターリング・Sクラス		
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド	106.17	93.07
- ユーロ・Sクラス		

23 買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の調整

本連結財務書類上の純資産総額は、最終取引純資産総額の確定後にファンドに計上された2,509,149米ドルの発行（2019年7月31日：ゼロ）およびゼロ米ドルの買戻し（2019年7月31日：456,230米ドル）を含むものである。以下の表は、上記の調整を考慮し、取引純資産総額から本連結財務書類上の純資産総額への調整を記載したものである。

	2020年7月31日 現在 千米ドル	2019年7月31日 現在 千米ドル
英文目論見書に従って算出した純資産総額（取引純資産総額）	54,357	61,678
取引純資産総額に反映されていない発行	2,509	-
取引純資産総額に反映されていない買戻し	-	(456)
本連結財務書類上の純資産総額	56,866	61,222

(3) 投資有価証券明細表等

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド
投資有価証券明細表
2020年7月31日現在（未監査）

証券銘柄	保有高	時価 千米ドル	純資産総額 比率
投資ファンド（2019年7月31日：101.32%）			
米ドル			
AHL (Cayman) SPC - Class A1 Evolution USD Shares	3,767,264	7,893	13.88%
AHL Evolution Frontier Fund	2,197,502	2,474	4.35%
Crabel Fund SPC Ltd.	512	616	1.08%
Crabel Fund SPC Ltd. - Segregated Portfolio - Series 95	3,798	4,732	8.32%
Fort Global UCITS Contrarian Fund USD Hedged	3,661	4,499	7.91%
Man AHL Trend Alt USD	26,496	4,113	7.23%
Systematica Alternative Markets Fund Ltd. - Class A USD	35,740	5,289	9.30%
Tewksbury Investment Fund	227	5,794	10.19%
Transtrend Fund Alliance - Omnitrend (USD)	1,563	3,643	6.41%
Two Sigma Investment Fund Ltd. - Class A	3,257	3,745	6.59%
Two Sigma Compass Enhanced Cayman Fund Ltd. GSY	1,157	5,700	10.02%
Two Sigma Spectrum Fund	3,292,000	3,320	5.84%
組入投資有価証券		51,818	91.12%
純流動資産		5,048	8.88%
純資産総額		56,866	100.00%

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド

投資有価証券明細表

2020年7月31日現在（未監査）（つづき）

	2020年7月31日	2019年7月31日	2018年7月31日
発行済買戻可能参加受益証券口数			
米ドル・クラス	216,422.18口	224,029.04口	232,851.25口
ユーロ・クラス	757.40口	757.40口	757.40口
ユーロ・ヘッジ・Rクラス	906.85口	906.85口	478.91口
米ドル・Rクラス	9,330.48口	9,330.48口	7,242.34口
スターリング・Rクラス	6,230.50口	6,543.06口	8,310.68口
米ドル・Sクラス	84,067.92口	88,080.12口	94,971.37口
スターリング・Sクラス	79,928.25口	65,968.91口	62,471.25口
ユーロ・Sクラス	8,851.25口	8,698.05口	8,291.89口
一口当たり純資産価格			
米ドル・クラス	159.49米ドル	175.12米ドル	161.89米ドル
ユーロ・クラス	130.73ユーロ	146.79ユーロ	139.65ユーロ
ユーロ・ヘッジ・Rクラス	106.93ユーロ	118.78ユーロ	111.93ユーロ
米ドル・Rクラス	120.93米ドル	131.38米ドル	120.31米ドル
スターリング・Rクラス	115.80英ポンド	127.69英ポンド	119.07英ポンド
米ドル・Sクラス	102.76米ドル	110.93米ドル	101.02米ドル
スターリング・Sクラス	99.12英ポンド	108.61英ポンド	100.69英ポンド
ユーロ・Sクラス	95.63ユーロ	105.38ユーロ	98.90ユーロ
純資産総額			
米ドル・クラス（千米ドル）	34,518	39,231	37,694
ユーロ・クラス（千ユーロ）	99	111	106
ユーロ・ヘッジ・Rクラス（千ユーロ）	97	108	54
米ドル・Rクラス（千米ドル）	1,128	1,226	871
スターリング・Rクラス（千英ポンド）	721	835	990
米ドル・Sクラス（千米ドル）	8,639	9,770	9,593
スターリング・Sクラス（千英ポンド）	7,922	7,165	6,290
ユーロ・Sクラス（千ユーロ）	846	917	820

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド

投資有価証券明細表

2020年7月31日現在（未監査）（つづき）

ポートフォリオの分類	2020年7月31日	2019年7月31日
未上場有価証券	100.00%	100.00%
	100.00%	100.00%

投資戦略別配分

	2020年7月31日	2019年7月31日
マネージド・フューチャーズ	90.30%	99.60%
マーケット・ニュートラル	6.20%	—
現金および費用	3.50%	0.40%
	100.00%	100.00%

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド
重要なポートフォリオの変動の概要*
2020年7月31日現在（未監査）

購入

銘柄	額面保有高	取得原価 千米ドル
Systematica Alternative Markets Fund Ltd. - Class A USD	35,739	5,400
Man AHL Trend Alt USD	29,078	4,500
Two Sigma Spectrum Fund	3,292,000	3,295
Two Sigma Investment Fund Ltd. - Class A	351	500

売却

銘柄	額面保有高	手取額 千米ドル
Winton Futures Fund Ltd. - Class B	6,739	6,830
Tewksbury Investments Fund	217	4,520
AHL (Cayman) SPC - Class A1 Evolution USD Shares	1,305,691	2,650
Two Sigma Investment Fund Ltd. - Class A	1,666	1,850
AHL Evolution Frontier Fund	1,031,126	1,200
Crabel Fund SPC Ltd.	807	950
Transtrend Fund Alliance - Omnitrend (USD)	336	750
Two Sigma Investment Fund Ltd. - Class A	500	500
Man AHL Trend Alt USD	2,581	420

2020年7月31日終了年度中、その他の購入および売却はなかった。

HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド

運用成績情報

2020年7月31日現在（未監査）

運用成績の概要

終了年度	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド ー米ドル・クラス	(8.93)%	8.17%	1.47%	(6.76)%	13.29%
米ドル3か月物 LIBORプラス3.5%	5.47%	6.26%	5.43%	4.63%	4.10%
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド ーユーロ・クラス	(10.94)%	5.11%	(1.32)%	(8.41)%	12.63%
ユーロ3か月物 LIBORプラス3.5%	3.21%	3.23%	3.21%	3.27%	3.45%
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド ースターリング・クラス****	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	13.59%
英ポンド3か月物 LIBORプラス3.5%	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	4.19%
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド ーユーロ・ヘッジ・Rクラス	(9.98)%	6.12%	0.17%	(8.03)%	13.67%
ユーロ3か月物 LIBORプラス3.5%	3.21%	3.23%	3.21%	3.27%	3.45%
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド ー米ドル・Rクラス	(7.95)%	9.20%	2.53%	(5.88)%	14.28%
米ドル3か月物 LIBORプラス3.5%	5.47%	6.26%	5.43%	4.63%	4.10%
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド ースターリング・Rクラス	(9.31)%	7.24%	0.92%	(6.80)%	14.50%
英ポンド3か月物 LIBORプラス3.5%	4.31%	4.45%	4.12%	4.03%	4.19%
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド ー米ドル・Sクラス**	(7.37)%	9.81%	3.12%	該当なし	該当なし
米ドル3か月物 LIBORプラス3.5%	5.47%	6.26%	5.43%	4.63%	該当なし
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド ースターリング・Sクラス*	(8.74)%	7.87%	1.65%	該当なし	該当なし
英ポンド3か月物 LIBORプラス3.5%	4.31%	4.45%	4.12%	4.03%	該当なし
HSBCトレーディング・アドバンテージ・ファンド ーユーロ・Sクラス***	(9.25)%	6.55%	0.54%	該当なし	該当なし
ユーロ3か月物 LIBORプラス3.5%	3.21%	3.23%	3.21%	3.27%	該当なし

*当該受益証券クラスは、2016年11月30日に開始された。

**当該受益証券クラスは、2016年12月30日に開始された。

***当該受益証券クラスは、2017年1月31日に開始された。

****当該受益証券クラスは、2017年2月28日にすべて償還された。

過去の運用成績は、将来の運用成績を示唆するものではない。運用成績データは、受益証券の発行および買戻しの際に発生する手数料および費用を含んでいない。

V. お知らせ

該当事項はありません。